

あなたの命を守る**救急**

9月9日は救急の日



岡南飛行場の岡山県消防防災航空隊に派遣されている林田さん

消防防災ヘリコプターで命を救う
災害現場にいち早く駆けつけ、救急や救助活動などをする消防防災ヘリコプター「きび」。岡山県消防防災航空隊で「きび」に乗り活動している総社市消防本部の職員がいます。林田章宏主任（中原）がその人。平成23年4月から同隊に派遣されています。「きび」に乗り、火災や救急、救助の現場へ出動し、航空隊員として活躍。「危険だが、

やりがいがある。経験を積んで、仕事の幅を広げたい」と話します。
市内にヘリコプターが着陸できる場所は20か所。「総社は着陸場所が豊富。もっと防災ヘリコプターを活用した活動ができる」と、実感した林田さん。「自分が架け橋となり、航空隊と市が連携を深め、より迅速に効率的な活動ができるようにしたい」と、市民の安全・安心を守る消防隊員として、日々訓練に励んでいます。

救急法出前講習の受講を



市消防本部では7月から、多くの人に応急手当を普及促進させることを目的に、救命入門コースを実施しています。90分のコースで、心臓が停止している場合の、血液を全身に送る胸骨圧迫とAEDの使い方に重点をおいた講習です。受講した人には右の写真の参加証を交付します。詳しくは消防署救急係（☎92-8346）まで。

●平成24年上半期 総社市火災・救急・救助の概要

■火災

- ・火災件数は8件
- ・火災種別は建物火災5件、林野火災2件、車両火災1件
- ・損害額は1039千円
- ・火災による死者はなく、負傷者は1人
- 更なる人的、物的被害の軽減のため、住宅用火災警報器の設置をお願いします。

■救急

- ・出動件数は1394件。新総社市になって過去最多
- ・1日当たり7.7回出動
- ・事故種別は急病が847件で最多
- ・65歳以上の搬送人員が前年に比べ153人の増加
- 残暑が厳しいなか、熱中症には十分注意してください。

■救助

- ・出動件数は25件
- ・事故種別は交通事故が15件で最多
- 救助件数は減少しましたが、死者を伴う交通事故、列車事故などの悲惨で重大な事故が発生しています。
- 問い合わせ 消防署業務係（☎92-8346）

さあ、はじめよう！



推進啓発ポスター

正しいことを行う**勇氣**

「勇氣」って何でしょう。正しいと思って「みんながどう思うかな…」「みんなは聞いてくれないのでは…」などと、なかなか実行できないときがあります。いけないと分かっている、「反対すると、きらわれてしまいそう…」「自分だけではやめられない…」などくり返してしまうことがあります。「しなければいけない」「どうすればいいのだろう」と思ったとき、正しいかどうかを判断し、正しいことをしようとする。これが本当の「勇氣」ではないでしょうか。



協同学習でグループごとに意見を発表している総社北小学校6年生。グループで話し合うことにより、考えを広めたり勇氣づけられたりし、全体での自信をもった発表につながっています。

一人ぼっちになっている人に「大丈夫」と声をかける。人をいじめている友だちに「やめようよ」と言う。学級の話合いで、正しいと思ったことを発表する。自分がまちがっていたら、素直にあやまる。どれも「勇氣」を出して実行したいですね。

「困ったときは一人で悩まず誰かに相談する」これも立派な「勇氣」ですよ。

問い合わせ 学校教育課（☎92-8358）

季節の絵本！



『おつきみうさぎ』
中川ひろたか・文 村上康成・絵 童心社

今日のテーマ 「お月見」

お月見には、その年の収穫を祝い、翌年の豊作を願う意味があります。秋の空は空気が澄んでいて月がきれいに見えます。十五夜には、すすきなどの秋の七草を飾り、お団子や里芋をお供えます。家族で、夜空を見上げて、月の中にうさぎの形をさがしてみるのはいかがでしょう。

この絵本のように、月にいるうさぎがあなたの近くにやってきました、楽しいですね。